

韓国における製材品・合板・木質ボード類の需給動向 (MDF)

4. MDF

(1) 生産量

2023年におけるMDFの生産量は建設景気の沈滞による家具用材及びインテリア需要の減少の影響で前年対比に10.0%減少した1,322千 m^3 を示した。MDFの生産量は2021年に発生したコロナウイルスによる在宅勤務の影響で家具用材の需要が増加した以降から持続的に減少している。

表-8. MDFの生産量

(単位：千 m^3)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
生産量	1,740	1,529	1,400	1,612	1,470	1,322

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望

一方、2023年における厚さ別のMDFの生産量をみると、15mm～20mm以下の製品は前年対比に8.1%減少した747千 m^3 を示した。15mm～20mm以下の製品は総生産量の56.5%を占めている。9mm～15mm以下の製品は同対比に8.5%減少した377千 m^3 を記録した。

表-9. 厚さ別のMDFの生産量

(単位：千 m^3)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
20mm以上	84	70	61	61	49	42
15～19.9mm	919	778	716	862	813	747
9～14.9mm	436	426	403	471	412	377
4.6～8.9mm	84	79	41	44	53	44
4.5mm以下	218	176	179	175	143	114
合計	1,741	1,529	1,400	1,613	1,470	1,324

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望

(2) 輸出入量

2023年のMD Fの輸入量は255千m³と前年対比に12.5%増加した。タイからの輸入量は前年対比に26.6%増加したことに對して中国からの輸入量は同対比に32.0%減少した。MD Fの輸入増加は国内MD Fの原材料の価格上昇に伴う製品価格の上昇が主な原因である。

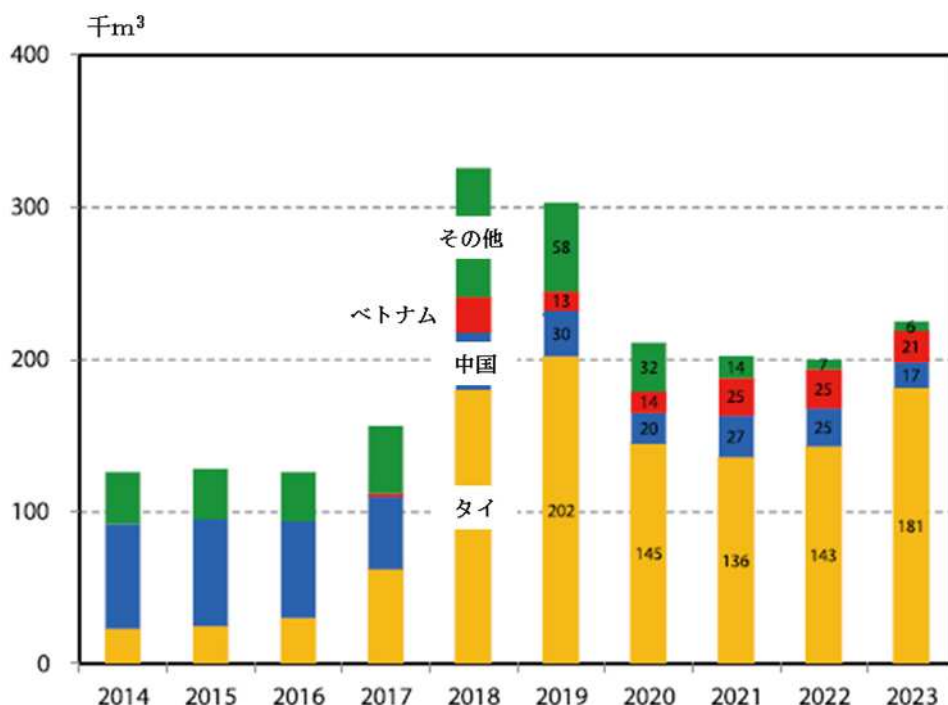


図-8. 国別のMD Fの輸入量

2023年のMD Fの輸出量は前年対比に19.2%減少した21千m³を示した。主な輸出国は日本であり輸出量は13千m³を示した。

表-10. MD Fの輸出量

(単位：千m³)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
輸出量	41	30	26	24	26	21

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望

(3) 消費量

2023年のMD Fの消費量は廃木材、製材発生廃材などの原材料の価格上昇によって製品価格の上昇と家具用材及びインドネシア材の需要減少で前年対比に7.2%減少した1,526千m³を示した。

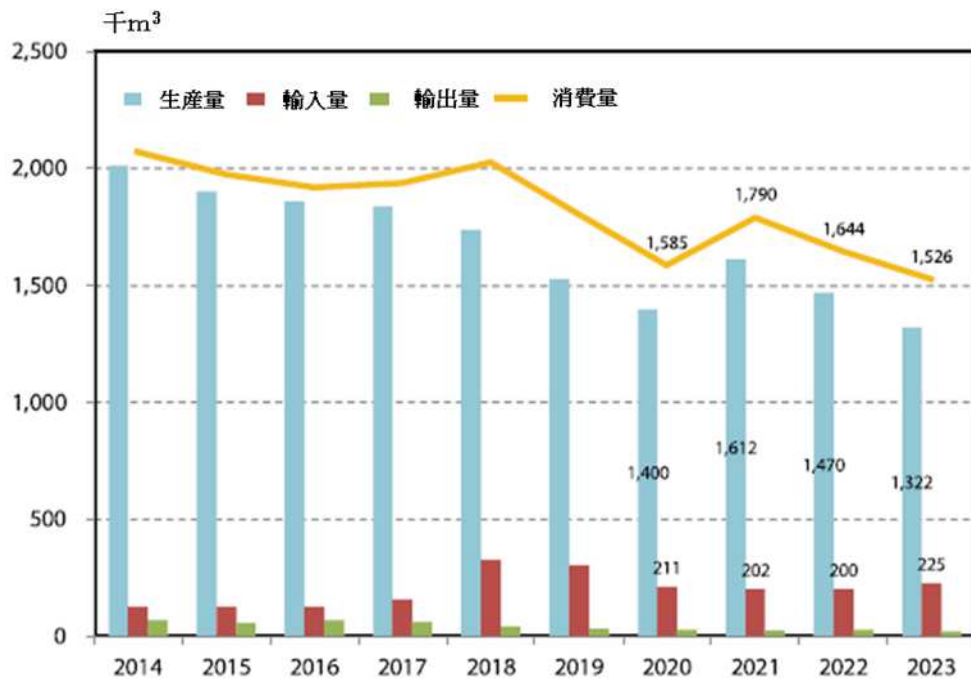


図-9. MD Fの消費量・生産量・輸出入量

(4) 需給展望

2024年におけるMD Fの消費量は製品価格の上昇と家具用材及びリモデリング需要減少によるインテリア用材の持続的な需要減少で前年対比に2.3%減少する1,491千m³を記録すると展望される。

2024年のMD Fの生産量はMD Fの需要減少や建設景気の沈滞による製材発生の際の廃材の供給不安で前年対比に2.6%減少する1,287千m³を示していると展望される。

表-11. MD Fの需給展望

(単位：千m³)

区分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
消費量	1,585	1,790	1,644	1,526	1,491	1,456	1,421	1,386	1,351
生産量	1,400	1,612	1,470	1,322	1,287	1,252	1,217	1,182	1,147
輸入量	211	202	200	225	255	225	225	225	225
輸出量	26	24	26	21	21	21	21	21	21

資料：国立山林科学院. 2024森林・林業展望